

飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例
令和6年度 地域公共再生可能エネルギー活用事業報告会 次第

日時：令和7年3月11日（火）14:30～17:00

場所：飯田市役所C311～312 会議室

1 開会

2 あいさつ

3 認定事業報告 【資料 No. 3-1】

- (1) 認定第 1 号 駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト 2013・・・P3
- (2) 認定第 5 号 久米会館・さくら保育園久米分園太陽光発電設備設置事業・・・P11
- (3) 認定第 12 号 下久堅ふれあい交流館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業・・・P24
- (4) 認定第 14 号 竜峡共同調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業・・・P28

4 新規事業紹介 【資料 No. 3-2】

- (1) 認定第 25 号 持続可能な伊賀良の庄づくりプロジェクト 2024・・・P50
- (2) 認定第 26 号 上村地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業・・・P51
- (3) 認定第 27 号 上久堅小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業・・・P53

5 ディスカッション

6 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会による全体講評

7 閉会

～ 閉会后、情報交換会 ～ 会場：C313 会議室

<配布資料>

- 【資料 No. 1】飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会 委員名簿
- 【資料 No. 2】地域公共再生可能エネルギー活用事業認定一覧
- 【資料 No. 3-1】認定事業報告資料
- 【資料 No. 3-2】新規事業紹介資料

飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会 委員名簿

敬称略

竹ヶ原 啓介 政策研究大学院大学 教授 ※会長代行
中島 大 全国小水力利用推進協議会 事務局長
水上 貴央 Socio Forward 株式会社 代表取締役／弁護士
長谷川 隆三 株式会社フロントヤード 代表取締役
上沼 俊彦 しんきん南信州地域研究所 主任研究員
城野 裕隆 中部電力パワーグリッド株式会社飯田支社
配電建設グループ グループ長
前田 剛彦 一般財団法人長野経済研究所 専務理事

飯田市再生可能エネルギー活用事業認定一覧

◎＝事業報告 ○＝新規事業紹介

認定 番号	事業名	事業者	発表
第1号	駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト 2013	駄科区／おひさまグリッド4株式会社	◎
第2号	飯田山本おひさま広場整備事業	山本地域づくり委員会／王子マテリア株式会社／株式会社シーエナジー／おひさま進歩エネルギー株式会社	
第3号	杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業	山本地域づくり委員会／おひさま進歩エネルギー株式会社	
第4号	丘づくり・市民共同発電プロジェクト 2014	竜丘地域自治会	
第5号	久米会館・さくら保育園久米分園太陽光発電設備設置事業	久米区会／おひさまグリッド5株式会社	◎
第6号	龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業	龍江四区地域づくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	
第7号	飯田市今田人形の館太陽光発電設備設置事業	今田人形の館運営委員会／龍江二区地域づくり委員会／今田人形座／おひさまグリッド5株式会社	
第8号	飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業	旭ヶ丘中学校太陽光発電事業推進協議会／おひさま進歩9号株式会社	
第9号	花の木山本小学校太陽光発電事業	山本地域づくり委員会／おひさま進歩10号株式会社	
第10号	小沢川小水力発電事業	上村まちづくり委員会／かみむら小水力株式会社	
第11号	伊賀良井用水マイクロ水力発電再生可能エネルギー活用事業	飯田市大井井水管理組合／株式会社マルヒ	
第12号	下久堅ふれあい交流館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	下久堅地区まちづくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	◎
第13号	ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	川路まちづくり委員会／おひさま進歩エネルギー株式会社	
第14号	竜峡共同調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	龍江地域づくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	◎
第15号	千代地区（千代小学校・千栄小学校）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	千代地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第16号	上久堅農村改善センター（上久堅公民館）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	上久堅地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第17号	松尾地区（松尾小学校・松尾公民館）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	松尾地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第18号	川路公民館及び川路小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	川路まちづくり委員会／株式会社リックス	
第19号	鼎地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	鼎地区まちづくり委員会／株式会社リックス	
第20号	龍江小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	龍江地域づくり委員会／エルコンパスイプサ 有限会社ナカガワ龍峡店	
第21号	竜丘小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	竜丘地域自治会／株式会社リックス	
第22号	野底川小水力発電再生可能エネルギー活用事業	上郷地域まちづくり委員会／野底川市民発電株式会社	
第23号	南信濃地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	南信濃まちづくり委員会／株式会社リックス	
第24号	座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	座光寺地域自治会／株式会社リックス	
第25号	持続可能な伊賀良の庄づくりプロジェクト 2024	伊賀良まちづくり協議会／株式会社リックス	○
第26号	上村地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	上村まちづくり委員会／株式会社リックス	○
第27号	上久堅小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業	上久堅まちづくり委員会／株式会社リックス	○

認定第1号

駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト2013

- 事業者 駄科区（竜丘）
- 協力事業者 おひさまグリッド4株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 駄科コミュニティ防災センター
- 太陽光発電容量 51.3 kW（パネル容量）
- 発電見込み量 年間 51,312 kWh

申出時点での事業計画

- ① 自立コンセントによる防災機能向上
- ② 地域が行う環境教育事業への協力

実績等

- 発電開始日 平成26年6月16日

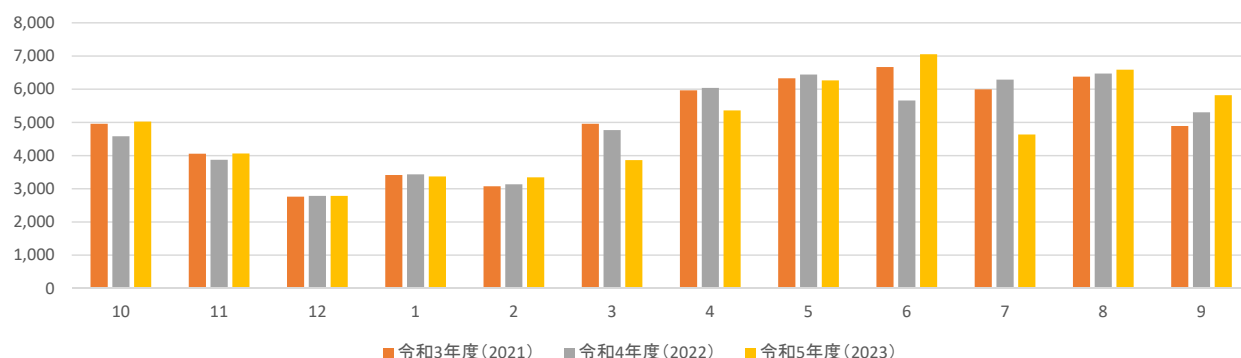
- 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和3年度 59,475kWh（当初想定：51,312 kWh）…CO₂削減量 24.1 t-CO₂

令和4年度 58,807kWh（当初想定：51,312 kWh）…CO₂削減量 26.4 t-CO₂

令和5年度 58,196kWh（当初想定：51,312 kWh）…CO₂削減量 25.2 t-CO₂

- 月別発電量



- 地域貢献寄付金（定率6%+税） ※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

平成27年度：168,290円	令和元年度：132,907円	令和5年度：129,375円
平成28年度：136,622円	令和2年度：130,214円	令和6年度：128,031円
平成29年度：132,728円	令和3年度：126,489円	
平成30年度：131,490円	令和4年度：130,845円	

寄付金を鈴岡城址公園の活性化へ（継続事業）

活動を通して交流の場に

鈴岡城址公園愛護会協力会、
駄科区組合、高齢者クラブと
の公園整備美化活動



公園管理棟を学びの場に

研修会が
開ける場に

約30人程度が入
れる部屋を活用



写真パネルの
展示

公園の歴史等を学
べるように写真を大
きなパネルにし展示
(約30枚)



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①鈴岡城址公園の整備と活用

- ・樹木が茂り景観が悪くなっており、樹木や竹林の整備。
- ・区民、市民の憩いの場としての活用。
- ・長野県の史跡として保存し、学習活動に利用。

②駄科コミュニティ防災センターの充実

- ・防災センターとしての施設の充実。
- ・区民が利用しやすい施設として整備。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	60,220円
今年度地域貢献寄付金	128,031円
合計	188,251円

■支出の部

鈴岡公園整備美化活動	80,000円
区民センター環境整備費	70,000円
合計	150,000円

■収支

収入の部 188,251円 － 支出の部 150,000円 = 38,251円

認定第2号

飯田山本おひさま広場整備事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田山本おひさま広場
- 太陽光発電容量 52.92 kW
- 発電見込み量 年間 59,287 kWh

申出時点での事業計画

①環境教育・避難用防災広場としての活用

- ・地域づくり委員会は環境・防災広場事業の実施主体として、山本地区の住民のための環境教育及び災害時の避難広場として維持管理を行う。

②非常用電源設備の利用方法を山本地区住民に周知し、災害時に活用

実績等

- 発電開始日 平成27年3月26日

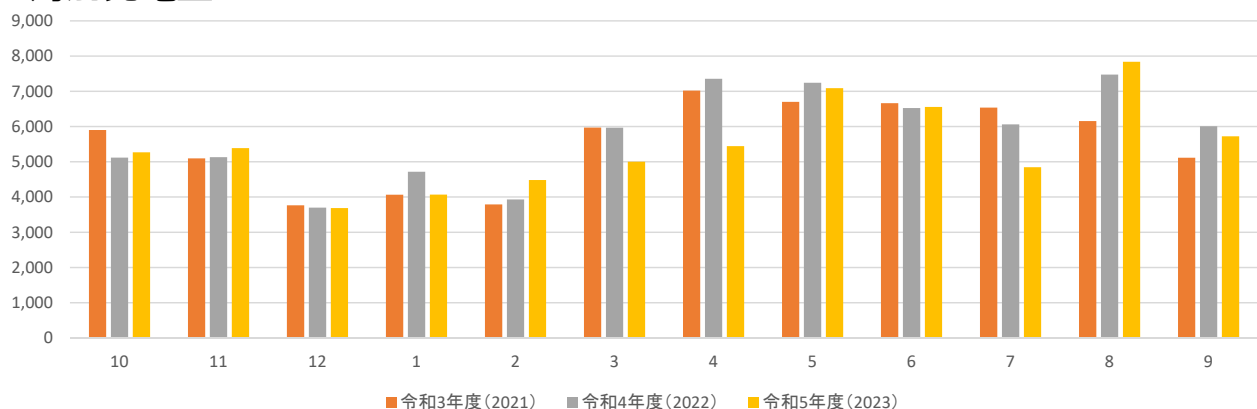
■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和3年度 66,807kWh（当初想定：59,287 kWh）・・・CO₂削減量 27.1 t-CO₂

令和4年度 69,253kWh（当初想定：59,287 kWh）・・・CO₂削減量 31.1 t-CO₂

令和5年度 65,412kWh（当初想定：59,287 kWh）・・・CO₂削減量 28.3 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率4%+税+1万円）

平成28年度：191,050円

令和2年度：125,013円

令和5年度：128,838円

平成29年度：128,204円

令和3年度：122,688円

令和6年度：122,247円

平成30年度：125,153円

令和4年度：124,640円

令和元年度：126,132円

本事業での最近の活用内容

①さくら保育園園児の遊び



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①契約の終了・更新時における設備の所有権の譲渡や撤去費用

- ・ 契約書において、契約期間の末日以降における設備の取り扱いについて、選択によって地域づくり委員会が所有権を譲渡される場合があると思われる。その場合、将来的に設備を撤去するとなった場合、地元でその費用を捻出することは難しい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。（R7.1.31現在）

■収入の部

前年度繰越金	747,852円	
今年度地域貢献寄付金	122,247円	令和6年10月22日受領
その他	40,000円	令和7年1月17日受領
預金利息	38円	
合計	910,137円	

■支出の部

電気料	3,198円	（広場の維持管理経費）
水道料	29,330円	（広場の維持管理経費）
除草芝生管理等委託料	220,000円	（広場の維持管理経費）
合計	252,528円	

■収支

収入の部910,137円 － 支出の部252,528円 ＝ 657,609円

認定第3号

杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市山本都市農村交流促進施設（杵原学校）
- 太陽光発電容量 22.8 kW
- 発電見込み量 年間 22,634 kWh

申出時点での事業計画

- ①山本地区住民による再生可能エネルギー利用に関する啓発・環境教育の推進。
- ②非常用電源設備の利用方法を山本地区住民に周知し、災害時に円滑に活用する。

実績等

- 発電開始日 平成27年4月1日

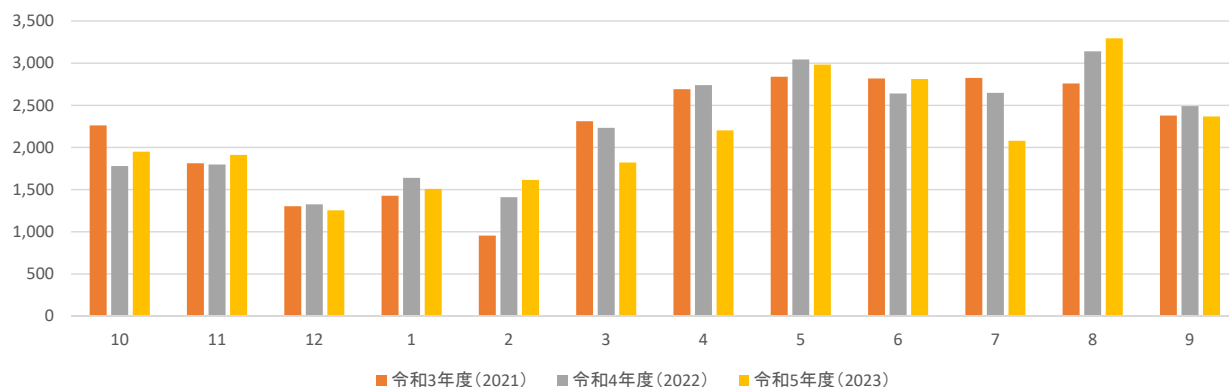
■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和3年度 26,391 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 10.7 t-CO₂

令和4年度 26,897 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 12.1 t-CO₂

令和5年度 25,811 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 11.2 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率6%＋税）

平成28年度：94,926円

令和2年度：59,182円

令和5年度：59,173円

平成29年度：60,318円

令和3年度：57,915円

令和6年度：56,784円

平成30年度：59,238円

令和4年度：58,060円

令和元年度：59,795円

本事業での最近の活用内容

①夏祭り



②運動会



③杵原学校子ども教室・デイキャンプ



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①契約の終了・更新時における設備の所有権の譲渡や撤去費用

- ・ 契約書において、契約期間の末日以降における設備の取り扱いについて、選択によって地域づくり委員会が所有権を譲渡される場合があると思われる。その場合、将来的に設備を撤去するとなった場合、地元でその費用を捻出することは難しい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。(R7.1.31現在)

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	56,784円	令和6年10月22日受領
合計	56,784円	

■支出の部

電気料	371,359円	(杵原学校の維持管理経費)
合計	371,359円	

■収支

収入の部56,784円 ― 支出の部371,359円 = △314,575円 不足分施設の指定管理料で補填

■補足

協定における寄付金の扱いについて「杵原学校の維持管理費と住民主体の交流事業に要する経費に充てる」となっている。

丘づくり・市民共同発電所プロジェクト2014

■事業者 竜丘地域自治会

■協力事業者

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 飯田市生涯学習センター（竜丘公民館）

■太陽光発電容量 12.0 kW

■発電見込み量 年間 15,200 kWh

申出時点での事業計画

- ①遊休農地の活用、ガーデニング講習会等による良好な景観づくり
- ②竜丘公民館への太陽光発電の設置によるエネルギー自給率の向上
- ③竜丘ふるさと教材「丘のみちしるべ」によるひとづくり
- ④児童自由画資料館建設基金の創設

実績等

■発電開始日 平成26年4月28日

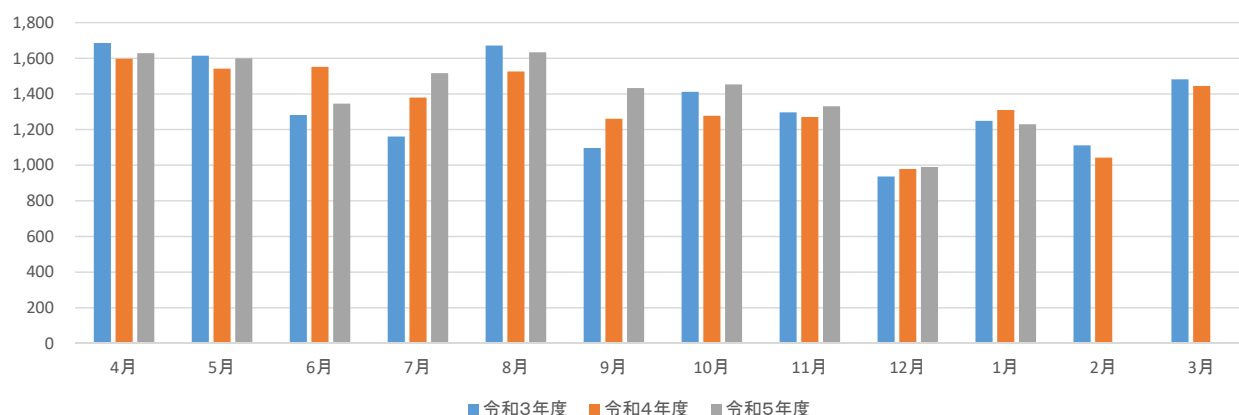
■年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間 令和6年度は1月まで）

令和4年度 16,185kWh（当初想定：15,200kWh）…CO₂削減量 6.28t/CO₂

令和5年度 16,423kWh（当初想定：15,200kWh）…CO₂削減量 6.37t/CO₂

令和6年度 13,239kWh（当初想定：15,200kWh）…CO₂削減量 5.13t/CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金

自己財源のため、地域貢献寄付金なし

本事業での最近の活用内容

- ①遊休農地の活用、ガーデニング講習会等による良好な景観づくり
【丘づくりガーデニング推進事業】



【芝生化実証事業】



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①太陽光発電設備の耐用年数経過に伴う維持管理への対応
②蓄電池等の活用によるエネルギーの有効利用を検討

会計報告（令和5年度）

※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	85,882円
売電収入	657,873円
預金利息	1円
合計	743,756円

■支出の部

光熱水費	6,446円
租税公課	140,200円
役務費・委託料（保険、コンサルティング料）	67,435円
借入金返済	350,000円
操出金（竜丘地域自治会へ）	100,000円
振込手数料	110円
合計	664,191円

■収支

収入の部 743,756円 － 支出の部 664,191円＝ 79,565円

久米会館・さくら保育園久米分園

太陽光発電設備設置事業

- 事業者 久米区
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 久米会館・さくら保育園久米分園
- 太陽光発電容量 32.8 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 33,367 kWh

申出時点での事業計画

- ①久米地区住民に対して再生可能エネルギーの利用に関する啓発及び環境教育の推進。
- ②設備の利用方法を久米地区住民に周知し、非常時に円滑に利用する。

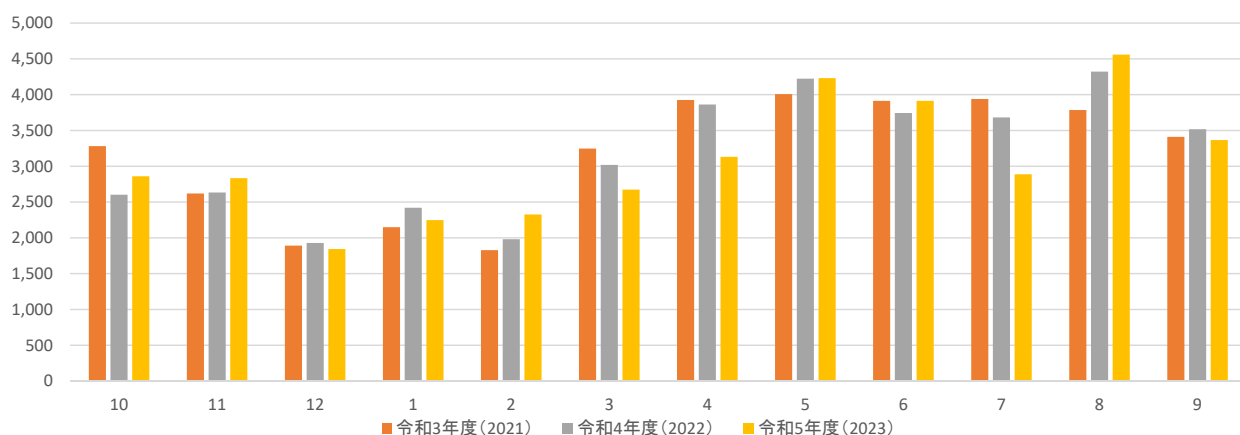
実績等

- 発電開始日 平成27年5月29日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和3年度 38,009kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 15.4 t-CO₂
 令和4年度 37,946kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 17.0 t-CO₂
 令和5年度 36,886kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 16.0 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金

定額: 87,000円

本事業での最近の活用内容

①夏休みこどもの居場所づくり「感環K U M Eハウス」



思い思いに仲間で楽しく



地域の皆さんで
おにぎり作り



昼は参加者と
いっしょに交流



暑い日はプールで



大工さんが
ノコギリの指導

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①契約期間終了時(設置から20年後)における設備の扱いについて

- ・ 契約満了時における設備の取り扱いについては、過去に協力事業者と協議を行っており、仮に撤去することとされた場合の廃棄処分費用については、同社の積立の中から負担いただくことを確認しているため、その確実な履行をお願いしたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。(R7.1.4現在)

■収入の部

前年度繰越金	347,922円	
今年度地域貢献寄付金	87,000円	令和6年10月31日受領
預金利息	20円	
合計	434,942円	

■支出の部

電気料	83,466円	(久米会館及び保育園の維持管理経費)
合計	83,466円	

■収支

収入の部434,942円 — 支出の部83,466円 = 351,476円

龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業

■事業者 龍江四区地域づくり委員会

■協力事業者 エルコンパス イプサ 有限会社 ナカガワ龍峡店

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 龍江四区コミュニティ防災センター

■太陽光発電容量 15.86 kW

■発電見込み量 年間18,628 kWh

申出時点での事業計画

①防災機能の向上

- ・防災設備の拡充及び充実（非常用電源確保等）

②地区事業の実施

- ・ほたる祭り等の助成
- ・地域元気づくり講演会

実績等

■発電開始日 平成27年6月5日

■年別発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） R4: 0.459 R5: 0.421 R6: 0.421

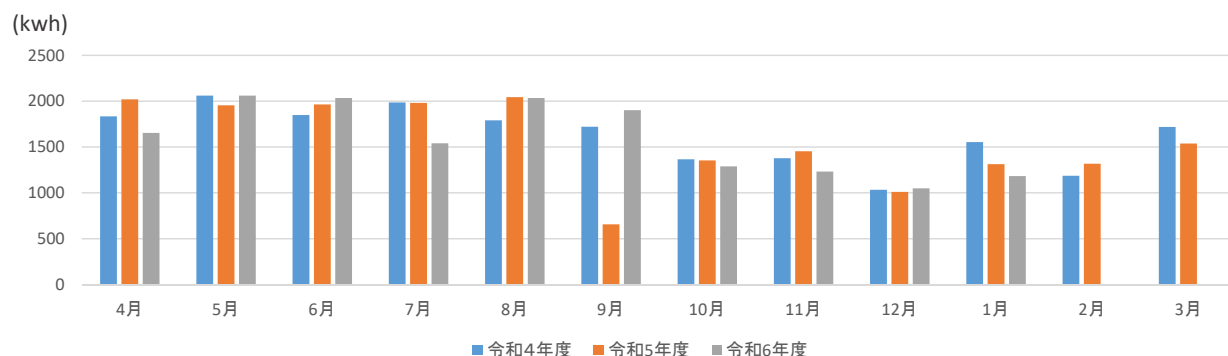
令和4年度19,446kWh（当初想定：18,628kWh）…CO₂削減量 8.93t/CO₂

令和5年度18,797kWh（当初想定：18,628kWh）…CO₂削減量 7.91t/CO₂

令和6年度17,525kWh（当初想定：18,628kWh）…CO₂削減量 7.38t/CO₂

※令和6年度は令和7年1月まで

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定率15%）

平成28年度	108,495円	平成29年度	106,488円
平成30年度	109,200円	令和元年度	103,385円
令和2年度	103,244円	令和3年度	102,251円
令和4年度	102,674円	令和5年度	97,119円
令和6年度	100,000円※見込み		

本事業での最近の活用内容

①地区事業「ほたる祭り」への助成 令和6年6月15日実施



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地区内活動への助成

- ・区内キャンプ場有効活用のための助成
- ・「ほたる祭り」への助成

②防災避難所への助成（来年度予定）

- ・情報用TVの購入への助成

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	67,119円	
今年度地域貢献寄付金	100,000円	3月中旬受領予定
預金利息	0円	
合計	167,119円	

■支出の部

「ほたる祭り」への助成金	30,000 円
合計	30,000 円

■収支

収入の部 167,119円－支出の部 30,000円＝ 137,119円
(次年度へ繰越)

飯田市今田人形の館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 今田人形の館運営委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 今田人形の館
- 太陽光発電容量 12.0kW
- 発電見込み量 年間13,634kWh

申出時点での事業計画

- ①寄付金を活用した今田人形の承継
- ②寄付金を活用した防災機能の向上
- ③非常用電源確保による防災機能の向上

実績等

- 発電開始日 平成27年6月12日

- 年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間、各年度10月～9月）

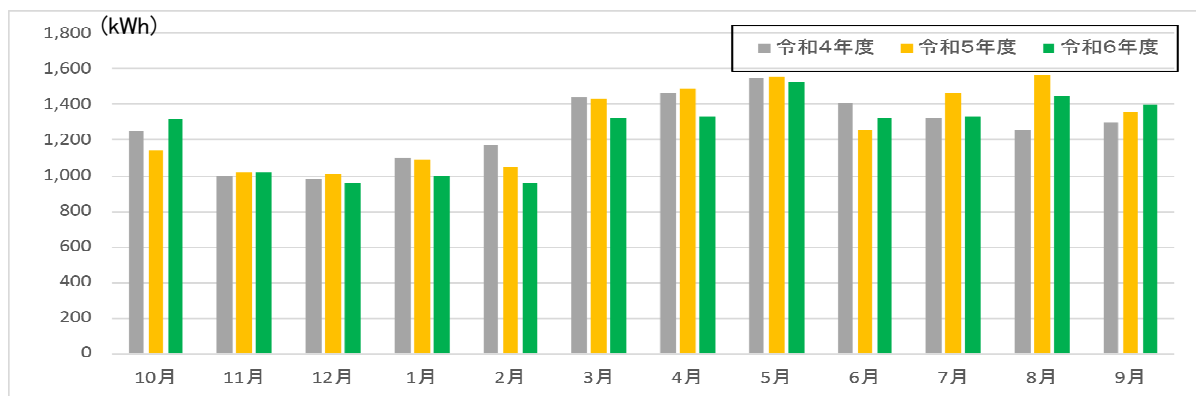
※中部電力排出係数（調整後） R4:0.459 R5:0.421 R6:0.421

令和4年度 15,250kWh（当初想定：13,634kWh）…CO₂削減量 7.00t/CO₂

令和5年度 15,428kWh（当初想定：13,634kWh）…CO₂削減量 6.50t/CO₂

令和6年度 14,950kWh（当初想定：13,634kWh）…CO₂削減量 6.29t/CO₂

- 月別発電量



- 地域貢献寄付金（定率6%＋税）

平成28年度：44,451円

令和2年度：32,567円

令和5年度：33,415円

平成29年度：33,949円

令和3年度：31,930円

令和6年度：32,813円

平成30年度：33,318円

令和4年度：33,418円

令和元年度：33,353円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

R6年度 本事業での最近の活用内容
 <①今田人形の承継への取組>



<②防災対策への取組み>



- ①今田人形の承継への取組み
 - ・ 宵祭りに使用する和ろうそく(20本 ¥105,700)の購入の一部とした
- ②防災対策への取組み
 - ・ 屋外用LEDスタンドライト (1台 ¥8,619)の購入

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

今田人形の承継への取組みについて、引き続き、照明用和ろうそくの購入、人形損傷の激しい人形の衣装の入れ替えを継続的に行いたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	33,415円
預金利息	0円
合計	33,415円

■支出の部

今田人形 和ろうそく	24,796円 (購入費用105,700円の一部)
防災 屋外用LEDスタンドライト	8,619円
合計	33,415円

■収支

収入の部 33,415円 － 支出の部 33,415円＝ 0円

飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業

■事業者 伊賀良まちづくり委員会・山本地域づくり協議会
旭ヶ丘中学校PTA・生徒会・教職員

■協力事業者 おひさま進歩9号株式会社

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 飯田市立旭ヶ丘中学校

■太陽光発電容量 57.24 k W（パネル容量）

■発電見込み量 年間 60,812 k W h

申出時点での事業計画

- ①生徒が主体的に取り組む、地域と連携した環境教育及び地域活動
- ②地域に開かれた学校づくりによるスクールコミュニティ（人々の結びつきや 関わりをより強め、学校と地域社会の協働関係を、より良好なものとなるための実践や考え方をいう。）の発展
- ③本件施設の防災機能の向上
- ④学校太陽光発電の取り組みの広範な発信

実績等

■発電開始日 平成28年3月12日

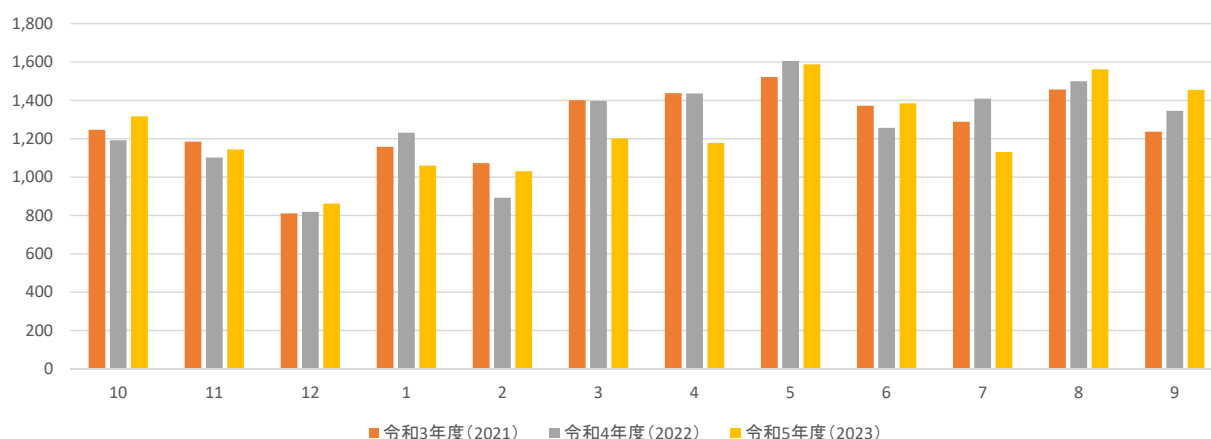
■年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和3年度 59,277 kWh（当初想定：60,812 kWh）・・・CO₂削減量 24.1 t-CO₂

令和4年度 66,518 kWh（当初想定：60,812 kWh）・・・CO₂削減量 29.9 t-CO₂

令和5年度 66,580 kWh（当初想定：60,812 kWh）・・・CO₂削減量 28.8 t-CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付

定額：100,000円

①福利委員会による太陽光発電学習発表

②福利委員会による全校発表 『おひさま』新聞



①地域と連携した環境教育

- ・おひさま進歩エネルギー様のご協力の下、環境教育を充実して行えている。
- ・エネルギーに関する学習として、1年生の総合的な学習の時間や委員会活動での学びが中心となっており、それを全校に紹介している。更に多くの生徒が学べる機会をつくっていきたい。
- ・災害時に中学生がパソコンの切り替えを率先して行えると良い。

- ・全校生徒に学校生活で必要としているものをアンケートし、必要物品を購入していく。
- ・地域からの出資によって実現した事業のため、地域に還元する用途も考えたい。

■収入の部

前年度繰越金	4 2 6 , 5 7 4 円	
今年度地域貢献寄付金	1 0 0 , 0 0 0 円	1 0 月 3 1 日受領
預金利息	2 7 円	
合計	5 2 6 , 6 0 1 円	

物品購入	133,375円
学習会講師謝礼	0円
イベント用機材購入	0円
合計	133,375円

収入の部 526, 601円－支出の部 133, 375円＝ 393, 226円

花の木山本小学校太陽光発電事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさま進歩10号株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 山本小学校
- 太陽光発電容量 42.93 k W (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 47,464 k W h

申出時点での事業計画

- ①山本小学校、PTA、地区内の諸団体等が連携して行う学校事業及び環境整備への支援。
- ②山本地区住民への広報を通じて、環境に対する意識の向上を図る。
- ③非常用電源設備の利用方法を地区住民に周知し、災害時に利用する。

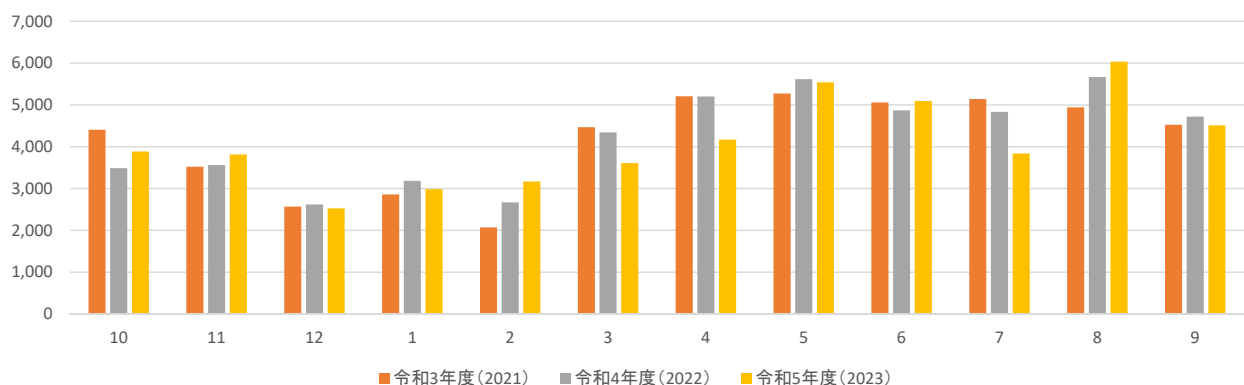
実績等

- 発電開始日 平成29年5月30日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和3年度 50,064 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 20.3 t-CO₂
令和4年度 50,791 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 22.8 t-CO₂
令和5年度 49,204 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 21.3 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率5%+税)

平成30年度: 86,254円	令和4年度: 60,577円
令和元年度: 62,275円	令和5年度: 61,457円
令和2年度: 60,328円	令和6年度: 59,536円
令和3年度: 59,741円	

本事業での最近の活用内容

①CO2モニターの購入



令和3年3月 卒業生である6年が学校敷地内に花桃の苗木6本を植樹。
令和4年3月 卒業生である6年が学校敷地内にサンシュの苗木を一本植樹。
令和5年3月 卒業生である6年が学校敷地内にサンシュの苗木2本の記念植樹。
令和6年3月 卒業予定である6年が学校敷地内にサンシュの苗木2本の記念植樹。
令和6年度 児童の健康管理を目的としたCO2モニター6台を購入。高学年教室を中心に配置。

小学校、PTA、地区内の諸団体が連携して行う学校事業及び環境整備に活用しています。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について
①特にありません。引き続き同様の活動を行っていきたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	59,536円	令和6年10月22日受領
合計	59,536円	

■支出の部

環境整備費	59,536円	(CO2モニター6台 62,520円の一部に充当)
合計	0円	

■収支

収入の部59,536円 － 支出の部59,536円 ＝ 0円

小沢川小水力発電事業

- 事業者 上村まちづくり委員会
- 協力事業者 かみむら小水力株式会社
- 発電設備 小水力発電
- 発電箇所 天竜川水系 小沢川
- 有効落差 最大 92.26m 常時 98.75m
- 使用水量 最大 0.31m³/s 常時 0.09m³/s
- 出力 最大 199.9kw 常時 59.5kw
- 導水管延長 955.01m
- 着工予定 未定
- 発電開始 未定

実績等

■令和6年度の取組状況

- ・ 詳細設計の確認及び事業費抑制策の検討
- ・ 国直轄砂防堰堤工事との調整
- ・ 経営会議等の開催

■会議・協議等記録

経営会議

- ・ 事業費抑制策の検討
- ・ 民間事業者等との事業連携の検討
- ・ 資金の確保策の検討

本事業での最近の活用内容 特になし

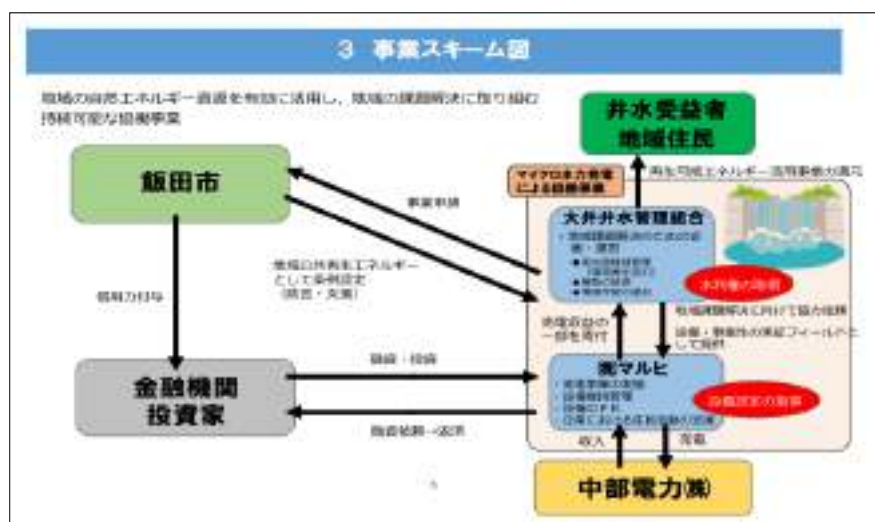
活動行っているうえでの困りごとや今後の展開について

資材費高騰の対応策

- ・ 昨今の世界情勢に伴う資材高騰による建設費の著しい増額に伴い事業の採算性の見通しが立たず、FITは認定（R6.2.26）されたが工事に着手ができない。

伊賀良井用水マイクロ水力発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 株式会社マルヒ
飯田市大井井水管理組合
- 発電設備 マイクロ水力発電
- 発電箇所 飯田市 妙琴浄水場



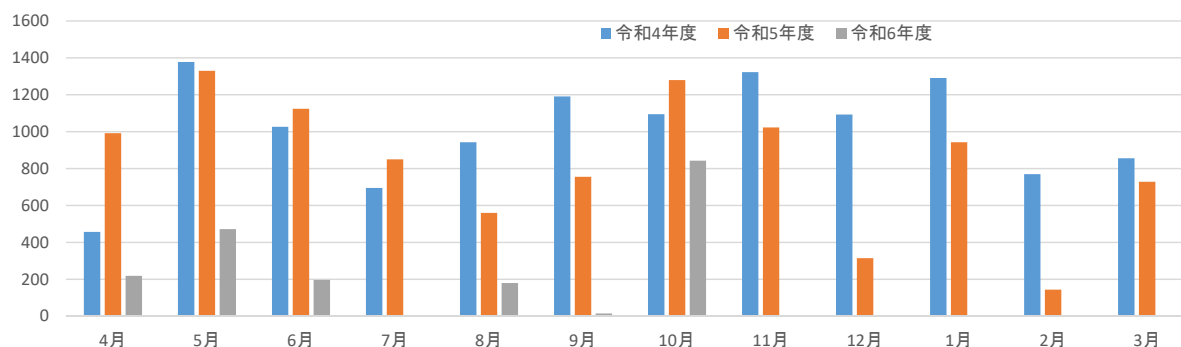
■発電開始日 令和元年1月

- ### ■年別発電量（直近3年間）

令和4年度	12,119kWh	(当初想定：15,417kWh)	…CO2削減量 5.56t/CO ₂
令和5年度	10,046kWh	(当初想定：15,417kWh)	…CO2削減量 4.23t/CO ₂
令和6年度	1,926kWh	(当初想定：15,417kWh)	…CO2削減量 0.81t/CO ₂

※令和6年4月～令和6年12月まで

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定率30%）

平成30年度(売電寄付金 ¥40,377)	93,740円	令和 4 年度	133,400円
令和 元年度	73,382円	令和 5 年度	110,051円
令和 2 年度	49,969円	令和 6 年度	20,255円 ※見込み
令和 3 年度	43,806円		

本事業での最近の活用内容

令和2年度～令和6年度 環境整備作業

井水組合、地元地区において、設備周りの環境整備作業を行いました。



令和6年度 高等学校見学会の実施

令和6年度において、下伊那農業高等学校 農業機械課に通う生徒と職員へ農業用水の成り立ちや地域とのかかわり深さなどの学習として水力発電設備の紹介を行いました。



現況の事業報告や今後の展開についてと会計報告

【現況 事業報告】

寄付金事業収入は環境整備などの費用の一部として使用しています。

2024年9月からはリニア工事による大井橋架け替えで止水しているため、現在、売電を停止している状況です。以前の課題であった発電機設置下の川底えぐれ問題は、大井橋架け替え工事の止水時に工事を行い、24時間稼働でも問題ないようにしました。

【今後の展開】

現行場所は、安定した24時間稼働が来ています。

引き続き 井水組合、飯田市との連携で事業を進めさせていただきます。

尚、弊社といたしましては、今後、地域・行政（飯田市）に御相談しながら、このスキームでの飯田下伊那地域における設置場所を増やすべく、現在既に候補地の選定にも着手しており、より加速感を持って、この事業拡大に取り組んでいく所存です。

会計報告

■収入の部

今年度地域貢献寄付金	20,255円	令和7年1月時点見込み
合計	20,255円	

■支出の部

環境整備費	20,255円（環境整備労務費50,000円の一部に充当）
合計	20,255円

■収支

収入の部20,255円 － 支出の部20,255円 ＝ 0円

下久堅ふれあい交流館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 下久堅地区まちづくり委員会

■協力事業者 エルコンパス・イプサ（有）ナカガワ龍峡店

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 下久堅ふれあい交流館

■太陽光発電容量 27.5kW（250W×110枚）

■発電見込み量 年間34,272kWh



下久堅ふれあい交流館

申出時点での事業計画

- ①エルコンパス・イプサがふれあい交流館の屋根を利用し、発電設備の設置及び発電事業を実施。
- ②売電収入の一部を地域貢献寄附金として下久堅地区まちづくり委員会に寄附する。
- ③まちづくり委員会は、下久堅の伝統であるひさかた和紙の保存・継承や体験プログラムの活動費等に活用する。

実績等

■発電開始日 平成31年3月～

■年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間 令和6年度は見込み）

※中部電力排出係数（調整後） R4：0.459 R5：0.421 R6：0.421

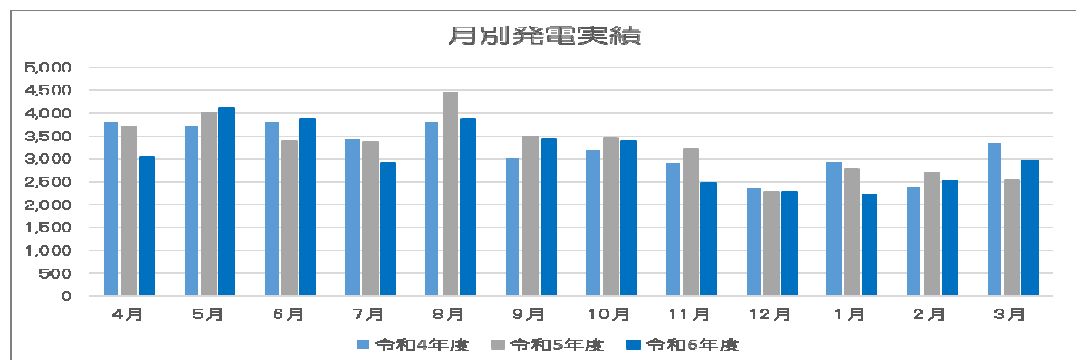
令和4年度 38,693kWh（当初想定：34,272kWh）…CO₂削減量 17.76t/CO₂

令和5年度 39,427kWh（当初想定：34,272kWh）…CO₂削減量 16.59t/CO₂

令和6年度 37,141kWh（当初想定：34,272kWh）…CO₂削減量 15.63t/CO₂

■月別発電量

(kWh)



■地域貢献寄付金（定率9%）

令和元年度 73,670円 令和4年度 68,875円

令和2年度 68,303円 令和5年度 71,251円

令和3年度 67,865円 令和6年度 66,827円（R7.1.31現在の見込み額）

本事業での最近の活用内容

①下久堅小学校児童による地域学習



こうそこの皮むき作業（11月）



紙漉き体験（12月）



6年生が修学旅行で外国人観光客に
ひさかた和紙をPR（10月）

②和紙の活動



こうそこの収穫作業（11月）



こうそこのたくり作業（12月～2月）



ひさかた和紙を使用した商品等



ツアー・オブ・ジャパン信州飯田ステージ
への出店（5月）



地域人教育（飯田OIDE長姫高校生）の
受け入れ（6月）



インバウンド観光客の初受け入れ（6月）

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①活動の課題

- ・体験プログラムや和紙製品の販売により、自主財源の安定的な確保。
- ・年間を通じた楮畑の管理（草刈り、芽欠き等）や紙漉き材料を準備する過程におけるスタッフの確保
- ・紙漉きに関する知識や技術を継承する後継者の育成。

②今後の展開

- ・和紙製品を商品化し、ひさかた和紙の認知度の拡大を図る。
- ・体験プログラムを通じて和紙への関心を高め、ファンづくりや人材確保につなげる。
- ・安定した収入を確保し、持続可能な活動体制を構築する。
- ・体験型観光の受け入れや、和紙の原料、製品の販売等による収入を、自治組織の自主財源として地域に還元できる仕組みを研究する。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	349,967円	
今年度地域貢献寄付金	66,827円	（見込み）
預金利息	22円	
合計	416,816円	

■支出の部

0円
（紙漉き道具等の購入資金として積立中）

■収支

収入の部 416,816円 － 支出の部 0円＝ 416,816円（令和6年度見込み額）

ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 川路まちづくり委員会
- 協力事業者 おひさま進歩エネルギー株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 ハートヒル川路
- 太陽光発電容量 89.28 k W (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 95,832 k W h

申出時点での事業計画

- ①太陽光発電を通じた環境教育の実施
- ②ハートヒル川路利用者との交流事業、施設整備事業への寄付金活用
- ③ハートヒル川路利用者とまちづくり委員会との合同防災訓練の実施
- ④まちづくり委員会による川路へ帰ろう事業

実績等

- 発電開始日 令和2年2月1日

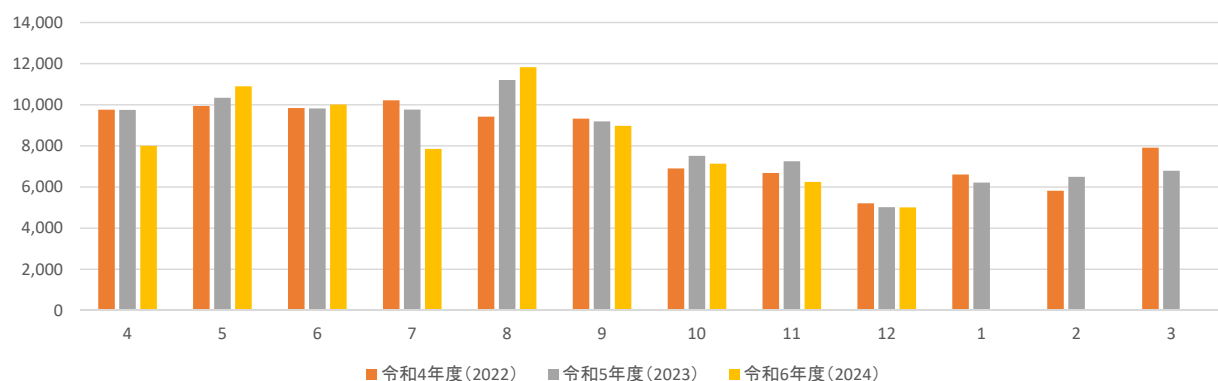
■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度4月～3月)

令和4年度 97,692 kWh (当初想定: 95,832 kWh) …CO₂削減量 39.7 t-CO₂

令和5年度 99,404 kWh (当初想定: 95,832 kWh) …CO₂削減量 43.0 t-CO₂

令和6年度 75,997 kWh (当初想定: 74,162 kWh) …CO₂削減量 33.4 t-CO₂ (R6.4~12)

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率5%+税)

令和3年度: 122,200円 令和6年度: 114,811円

令和4年度: 111,942円

令和5年度: 112,834円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での活動内容

川路へ帰ろう事業



川路出身者に送ったカレンダー

里山保全事業



里山整備作業 2024.5.12

環境維持活動



メガソーラ環境保全活動 2024.5.26

環境教育事業



環境学習会 2024.12.15

未満児保育運営支援事業



保育園農業体験事業 2024.9.30

活動を行う上での困りごとや今後の展開について

- ①令和4年度に川路で生まれた子供が4人という驚くべき数字を受け、若い世帯の移住促進をメインに推進。「川路に帰ろうキャンペーン事業」「Instagramでの川路のPR活動」を重点に取組み開始。
- ②里山整備は、先ず学友林の復活を挙げ、小学校PTA、保育園保護者会他と協力して整備を継続。
- ③ホームページは活発な投稿が寄せられるようになる。今後後世に残したい川路の貴重な資料を整理して、自由に閲覧可能な環境を整備したい。
- ④ハートヒル川路とは「避難訓練」「敬老会」「未満児保育活動」等に参加し、交流を継続している。

会計報告

※以下の会計については、まちづくり委員会会計に直結した形で独立して管理しています

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	170,000円（リックスより5/14入金） 114,811円（おひさま進歩より6/6入金）
合計	284,811円

■支出の部

①川路へ帰ろうキャンペーン事業	42,250円（荷物発送補助・郵送料等）
②里山管理事業	18,301円
③川路農園運営補助事業	10,000円（畑の賃貸料等）
④未満児保育運営支援事業	10,000円
⑤ホームページ充実事業	140,000円（オペレーター委嘱料）
⑥ハートヒル川路交流事業	3,000円（敬老会補助等）
合計	223,551円

■収支

284,811（収入）－223,551（支出）＝61,260円（まちづくり委員会への戻し）

竜峡共同調理場太陽光発電

再生可能エネルギー活用事業

- 事業主体 龍江地域づくり委員会 会長 宮脇正博
- 協力事業者 エルコンパス・イプサ有限会社 ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 竜峡共同調理場 飯田市龍江3600-1
- 太陽光発電容量 24.00 k W (250W x 96枚)
- 発電見込み量 年間29,554 k W h

申出時点での事業計画

- ①食とエネルギーの地域循環の創出と環境教育の推進
- ②竜峡小梅、地元産大豆等の地元食材を活用した郷土食の提供による域産域消の推進
- ③市内の小中学校への給食を安全安心に配達するための隣接する放置竹林の環境整備作業
- ④調理場周辺の放置竹林整備による害虫発生抑制と衛生環境の向上

実績等

- 発電開始日 令和2年3月30日

- 年別発電量及びCO₂削減量（令和4年3月～令和6年1月）

※中部電力排出係数（調整後） R4 : 0.459 R5 : 0.421 R6 : 0.421

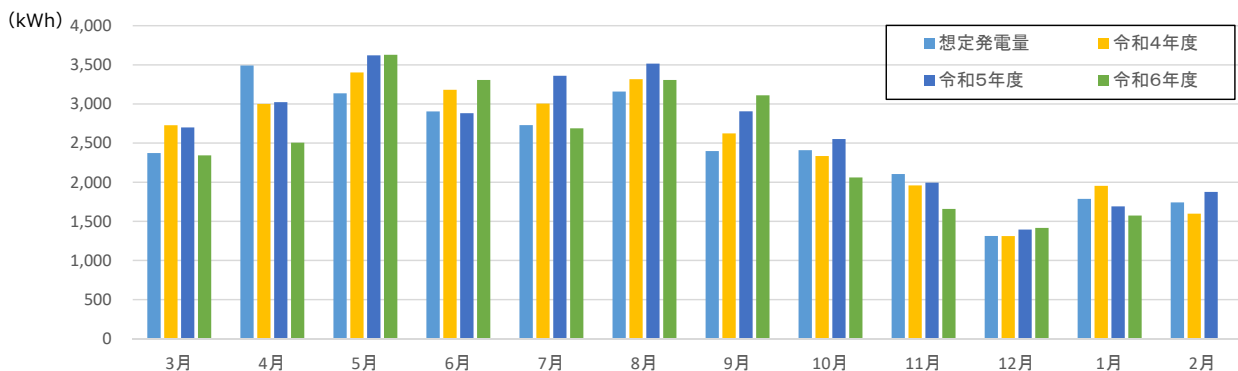
令和4年度30,423kWh（当初想定：29,554kWh）…CO₂削減量 13.96t/CO₂

令和5年度31,527kWh（当初想定：29,554kWh）…CO₂削減量 13.27t/CO₂

令和6年度27,607kWh（当初想定：29,554kWh）…CO₂削減量 11.62t/CO₂

※令和7年1月31日数値

- 月別の想定発電量と発電実績（令和4年3月～令和6年1月実績）



- 地域貢献寄付金（定率10%）

令和2年度	72,393円	令和5年度	82,621円
令和3年度	80,619円	令和6年度	77,620円 ※見込み
令和4年度	80,316円		

本事業での最近の活用内容

①調理場周辺の側溝に詰まった落ち葉の掃除、放置竹林の整備を実施した。



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ① 調理場周辺の放置竹林整備に限らず、龍江地区内の広範囲に竹林整備を拡大する。又、伐採した竹などの有効活用を検討する。
- ② 次年度は専門業者を依頼して竹林伐採を実施していくが、作業の金額が高額になる為、隔年での実施を余儀なくされる。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	168,059円	
今年度地域貢献寄付金	82,621円	(4月受取)
預金利息	29円	
合計	250,709円	

■支出の部

作業の飲み物	2,850円
合計	2,850円

■収支

$$250,709円 - 2,850円 = 247,859円$$

千代地区（千代小学校・千栄小学校）

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業主体 千代地区まちづくり委員会 会長 小澤 克平

■協力事業者 株式会社リックス 代表取締役 熊谷 弘

■発電設備 太陽光発電

■発電場所 飯田市立千代小学校 飯田市千代3166番地 2

飯田市立千栄小学校 飯田市千栄1530番地 1

■発電容量 最大出力 55.48kw

（千代小学校27.74kw、千栄小学校27.74kw）

■発電見込み量 年間 53,302kWh

申出時点での事業計画

①地域環境資源の情報発信の強化

②地区の特産物や農産物の販路拡大による長野県版エシカル消費の推進

③地域の子どもたちの教育環境の充実

実績等

■発電開始日 千代小学校 令和2年7月22日
千栄小学校 令和2年6月16日

■年別発電量及びCO₂削減量

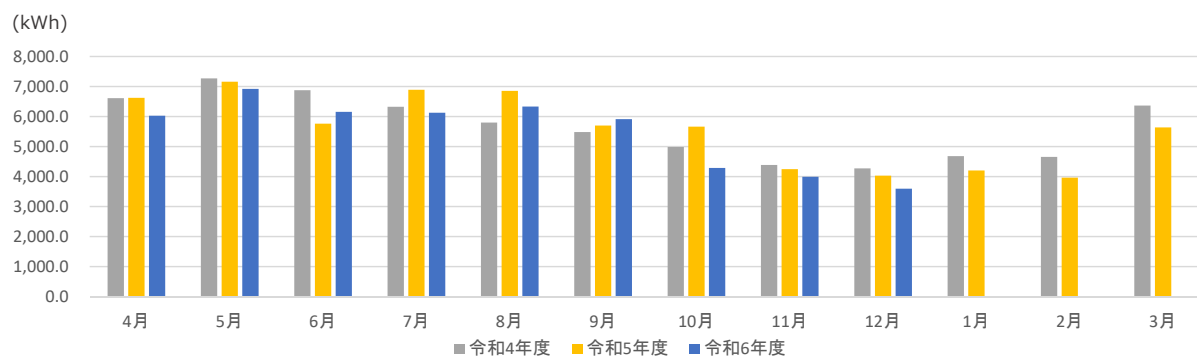
※中部電力排出係数（調整後） R4：0.459 R5：0.421 R6：0.421

令和4年度67,737.4kWh（当初想定：60,417.7kWh）・・・CO₂削減量31.10t-CO₂

令和5年度66,765.1kWh（当初想定：60,112.6kWh）・・・CO₂削減量27.91t-CO₂

令和6年度49,371.7kWh（当初想定：59,508.4kWh）・・・CO₂削減量20.64t-CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定額180,000円）

令和2年度 180,000円 令和3年度 180,000円 令和4年度 180,000円

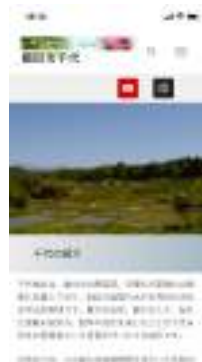
令和5年度 180,000円 令和6年度 180,000円

本事業での最近の活用内容

①環境教育の充実



②魅力発信等



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①活動を行う上での課題（基本構想により取り組む地域課題）

- ・ 情報発信の強化
- ・ 子どもたちの教育環境の充実

②今後の展開について

- ・ SNSを活用した地区の豊かな環境資源の情報発信
- ・ 地区の将来を担う子どもたちの教育環境の充実

会計報告（令和6年度）

■収入の部 今年度地域貢献寄付金 180,000円(4月30日受領)
合計 180,000円

■支出の部 教育環境の整備 120,000円(千代小、千栄小の備品等購入)
魅力発信事業 60,000円(ホームページ運営等)
合計 180,000円

■収支

収入の部 180,000円－支出の部 180,000円＝ 0円

認定第16号

上久堅農村環境改善センター（上久堅公民館） 太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 上久堅地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社 リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 上久堅農村環境改善センター

■太陽光発電容量 20.805 kwh

■発電見込み量 年間 18,879kwh

申出時点での事業計画

- ① 景観形成のための、屋外広告物の改修、修繕及び除却費への活用
- ② 空き家対策作業時等における経費への活用
- ③ 環境及び農地保全のための野生鳥獣防護柵の維持管理に必要な資材購入への活用
- ④ 上久堅公民館の屋根を活用した太陽光発電による売電事業

実績等

■発電開始日 令和2年7月2日

■年別発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） R4：0.459 R5：0.421 R6：0.421

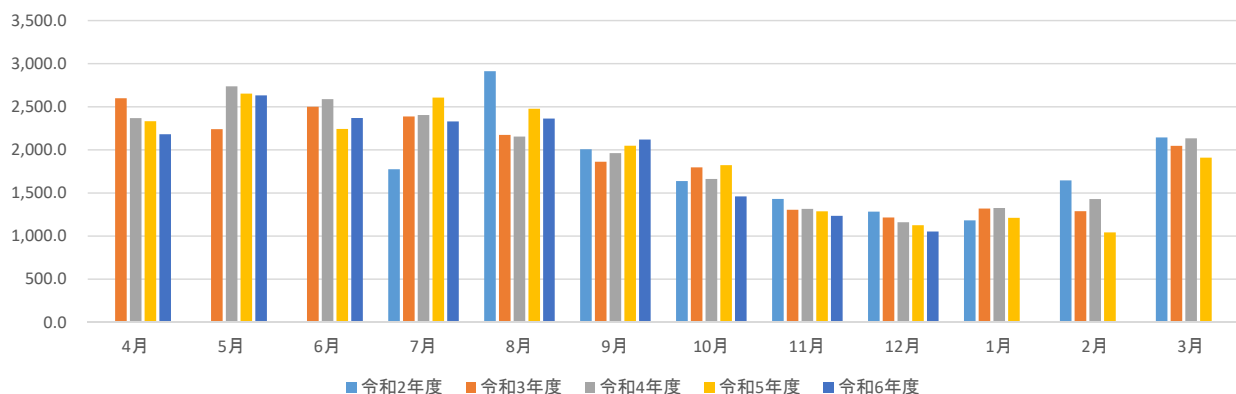
令和4年度23,252.5kWh（当初想定：22,656.6kWh）・・・CO₂削減量 10.67t/CO₂

令和5年度22,767.7kWh（当初想定：22,542.2kWh）・・・CO₂削減量 9.58t/CO₂

令和6年度17,750.3kWh（当初想定：22,427.8kWh）・・・CO₂削減量 7.47t/CO₂

※令和6年12月31日数値

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定額 80,000円）

令和2年度 80,000円 令和3年度 80,000円 令和4年度 80,000円

令和5年度 80,000円 令和6年度 80,000円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

①上久堅地区基本構想・基本計画及び上久堅地区土地利用計画 策定



平成31年(2019)4月～施行

- ・人口減少に伴う地域内の空き家対策の実施
- ・美しい景観の保全のため、屋外広告物について必要に応じた規制の検討
- ・野生鳥獣対策に有効な防護柵維持管理への協力



令和2年(2020)10月～施行

- ・上久堅地区空き家対策特別委員会を設置し始動
- ・屋外広告物について飯田市条例を利用した基準強化及び老朽化し表示が見えない屋外広告物の看板改修、撤去等の方針

②上記計画に基づく主な活動



屋外広告物に関する撤去・改修



野生鳥獣対策防護柵補修作業

- ・屋外広告物検討委員会立上げ上久堅の美しい景観を保護するため、上久堅地区における屋外広告物に関する基準強化を要望し令和3年3月から施工となった。また令和2年度に現地調査を行い、退色した屋外広告物を徐々に撤去又は更新を開始した。
- ・令和元年度にまちづくり委員会の特別委員会として「空き家対策特別委員会」を設置し、移住者を呼び込むためには住む場所の確保が大事であり、現在までに19件の空き家解消につながっている。
- ・野生鳥獣対策協議会を中心に維持活動に取り組んでいる。年に2回から3回の防護柵点検作業を行っている。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

① 屋外広告物の改修、修繕

- ・現地調査を行った結果、ひどく退色した屋外広告物が多かったため、徐々に撤去又は更新していく。
- ・民間業者または非営利団体等が設置した広告物については設置者との調整が必要であるため時間と労力がかかる。

② 空き家対策

- ・1件の解消に4～5年かかるケースが多い。家を処分することには相当な決意が必要な為、丁寧に時間をかけて家主に話していく必要がある。
- ・相続登記がされていない空き家が多く、解消の意向があってもできないことがある。令和6年度に相続登記が義務化されたため、空き家対策委員会でも規則に沿った活動を行う。
- ・空き家解消件数の目標を2件以上とし飯田市空き家バンクへの登録件数の増、地区HPを活用した情報発信を引続き行う。

③ 野生鳥獣防護柵の維持管理

- ・現在のところ委員の補修対応で維持を行っている、令和6年度は5月と11月に2回、計3回実施した。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	203,659円	
まちづくり繰入金	161,000円	
今年度地域貢献寄付金	80,000円	令和6年5月15日 受領
預金利息	341円	
合計	445,000円	

■支出の部

事業費	134,214円（景観向上事業）	令和7年2月14日現在
合計	134,214円	

■収支

収入の部 445,000円 — 支出の部 134,214円 = 310,786円

■事業者 松尾地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 松尾小学校・松尾公民館

■太陽光発電容量 飯田市松尾公民館 20.81 kW
飯田市立松尾小学校 27.74 kW

■発電見込み量 飯田市松尾公民館 年間20,891 kWh
飯田市立松尾小学校 年間29,001 kWh

申出時点での事業計画

- ① 地域の子どもたちを地域で育てるコミュニティスクールの推進
- ② エネルギーの地域循環の創出と環境学習の推進
- ③ 災害時など送電網による電力供給が停止した際の臨時的な電力の確保
- ④ 松尾公民館及び松尾小学校の屋根を活用した太陽光発電による売電事業

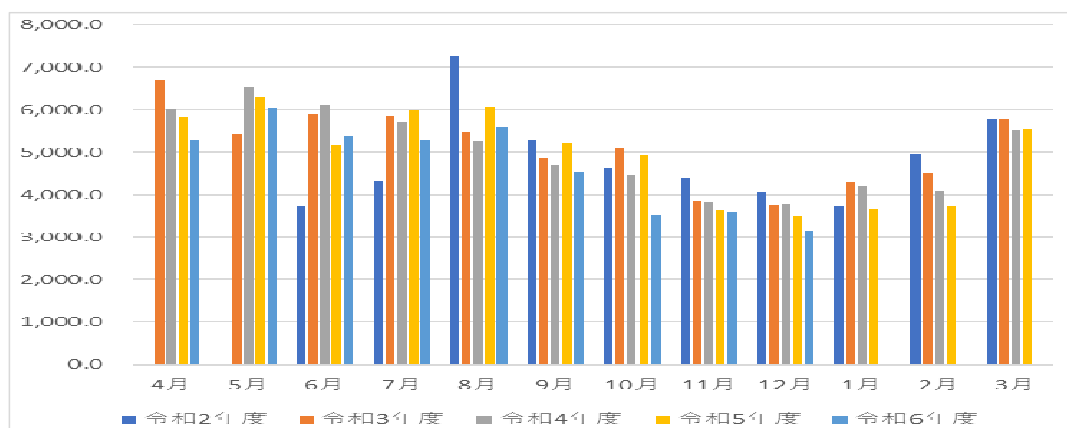
実績等

■発電開始日 平成2年6月9日

■年別発電量及びCO₂削減量

令和4年度 60,241.6kWh（当初想定：52,865.5kWh）…CO₂削減量 27.65t/CO₂
令和5年度 59,556.2kWh（当初想定：52,598.5kWh）…CO₂削減量 27.34t/CO₂
令和6年度 42,399.3kWh（当初想定：52,069.9kWh）…CO₂削減量 17.85t/CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定額200,000円）

令和3年度 200,000円 令和4年度 200,000円
令和5年度 200,000円 令和6年度 200,000円

本事業での最近の活用内容

①出張科学実験教室（超低温の不思議な世界＆リニア＆超伝導体）



②出張科学実験教室（モデルロケットを打ち上げよう）



③学校図書購入補助



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地域貢献負担金について

- ・前述のとおり、子どもたちを中心にした事業に活用しています。まちづくり委員会として使途目的が明確となっており、大変ありがたく感じております。

②困りごとや今後の展開について

- ・現状では、特に会計上や事業実施について困っていることはございません。今後、本事業を進めていく上で何か対応等で苦慮することが発生した場合には、あらためてご相談いたします。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	200,000円	4月30日受領
預金利息	0円	
合計	200,000円	

■支出の部

出張科学実験教室	100,000円（育成会事業）
学校図書購入補助	100,000円
合計	200,000円

■収支

収入の部 200,000円－支出の部 200,000円＝ 0円

川路公民館及び川路小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者	川路まちづくり委員会
■協力事業者	株式会社 リックス
■発電設備	太陽光発電
■発電箇所	川路公民館、川路小学校
■太陽光発電容量	48.50 kW
■発電見込み量	53,350 kWh

▼申し出時点での事業計画

- ①川路へ帰ろう事業（川路出身の県外在住者に故郷の情報を提供する）
- ②里山管理事業（里山保全のための管理組合設立準備と協議）
- ③川路農園運営補助事業（川路農園の運営支援）
- ④未満児保育運営支援（おむすび保育園への支援）
- ⑤ホームページ充実（見やすくわかりやすいホームページ制作と内容更新）

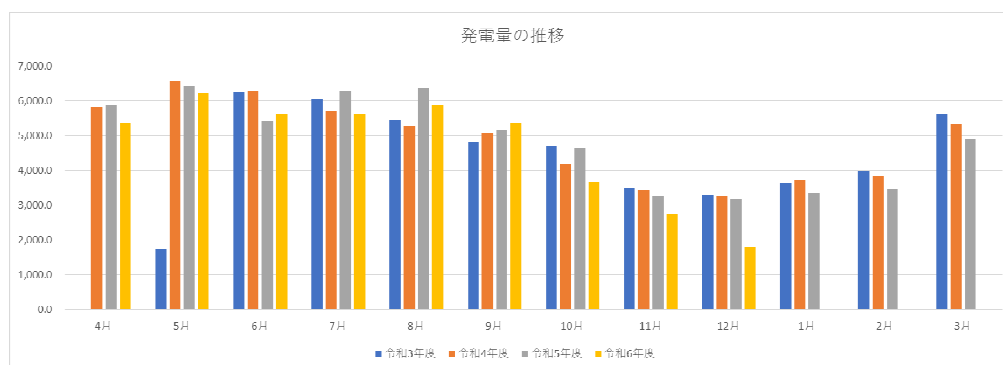
実績等

■発電開始日 川路小学校 令和3年5月26日 川路公民館 令和3年5月15日

■年別発電量及びCO₂削減量

令和4年度 58,454kWh（当初想定：53,133kWh）… CO₂削減量 26.83t/CO₂
 令和5年度 58,283kWh（当初想定：52,866kWh）… CO₂削減量 24.54t/CO₂
 令和6年度 42,219kWh（当初想定：52,336kWh）… CO₂削減量 17.77t/CO₂

■月別発電量



※川路公民館外壁・屋根塗装のため、11月下旬～ 発電なし

■地域貢献寄付金（定額 170,000円）

令和3年度 170,000円 令和4年度 170,000円
 令和5年度 170,000円 令和6年度 170,000円

本事業での活動内容

川路へ帰ろう事業



川路出身者に送ったカレンダー

里山保全事業



里山整備作業 2024.5.12

環境維持活動



メガソーラー環境保全活動 2024.5.26

環境教育事業



環境学習会 2024.12.15

未満児保育運営支援事業



保育園農業体験事業 2024.9.30

活動を行う上での困りごとや今後の展開について

- 令和4年度に川路で生まれた子供が4人という驚くべき数字を受け、若い世帯の移住促進をメインに推進。
川路に帰ろうキャンペーン事業」「Instagramでの川路のPR活動」を重点に取組み開始。
- 里山整備は、先ず学友林の復活を挙げ、小学校PTA、保育園保護者会他と協力して整備を継続。
- ホームページは活発な投稿が寄せられるようになる。今後後世に残したい川路の貴重な資料を整理して、自由に閲覧可能な環境を整備したい。
- ハートヒル川路とは、「避難訓練」「敬老会」「未満児保育活動」等に参加し、交流を継続している。

会計報告

※以下の会計については、まちづくり委員会会計に直結した形で独立して管理しています

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	170,000円 (リックスより5/14入金)
	114,811円 (おひさま進歩より6/6入金)
合計	284,811円

■支出の部

①川路へ帰ろうキャンペーン事業	42,250円 (荷物発送補助・郵送料等)
②里山管理事業	18,301円
③川路農園運営補助事業	10,000円 (畑の賃貸料等)
④未満児保育運営支援事業	10,000円
⑤ホームページ充実事業	140,000円 (オペレーター委嘱料)
⑥ハートヒル川路交流事業	3,000円 (敬老会補助等)
合計	223,551円

■収支

284,811 (収入) - 223,551 (支出) = 61,260円 (まちづくり委員会への戻し)

認定第19号

県地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 県地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 県小学校第2体育館／県中学校武道館／県体育館

■太陽光発電容量 73.5 kW

(県小学校第2体育館28.5kW/県中学校武道館28.5kW/県体育館16.5kW)

■発電見込み量 年間71,878 kWh

申出時点での事業計画

- ①小中学校、公民館、地域及び家庭が一体となって県の子どもを育てる「かなエココミュニティスクール」の推進及び地育力向上の取り組みに活用【重点事業】
- ②県地区の活性化や自治を支えることを目的とした団体の助成やその事業の実施の支援に活用
- ③特色ある地域づくり、地域の活力アップに繋がる県の環境整備やブランド力向上に資することに活用
- ④指定避難施設である県小学校・中学校、応急避難施設である県体育館の防災力の更なる向上に活用

実績等

■発電開始日 県小学校第2体育館 令和3年4月20日 県中学校体育館 令和3年4月19日
県体育館 令和5年2月28日

■年別発電量及びCO₂削減量

令和4年度 79,232.5kWh (当初想定: 85,486.5kWh)

(県小39,628.6kWh、県中37,096.8kWh、県体育館2,507.1kWh) →CO₂削減量 33.1t/CO₂

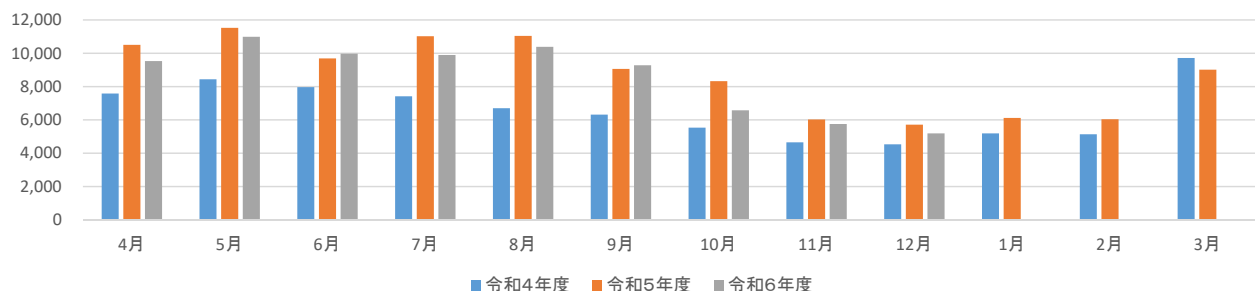
令和5年度 104,121.4kWh (当初想定: 85,057.5kWh)

(県小39,567.8kWh、県中37,060.1kWh、県体育館27,493.5kWh) →CO₂削減量 43.5t/CO₂

令和6年度 77,622.8kWh (当初想定: 76,233.5kWh) 【令和7年1月末時点】

(県小29,684.3kWh、県中27,759.7kWh、県体育館20,178.8kWh) →CO₂削減量 32.4t/CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金 (定額310,000円)

令和3年度	220,000円	令和4年度	220,000円
令和5年度	220,000円	令和6年度	400,000円

※県体育館の発電が本格稼働した令和5年度から年31万円の定額寄付のはずであったが、双方の誤認により令和6年度まで22万円の寄付が継続。令和6年度において、差額分の追加寄付があり補正した。

本事業での最近の活用内容

① 県小学校・県中学校・県公民館合同講演会



② 指定避難所開設・運営訓練と地区拠点班を結ぶ防災力の向上



③ 地域資源を活かした環境教育・「木育」のための準備作業



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

① 県地区における「景観まちづくり」の推進

- ・ 県道青木東線沿線の看板規制等に係わる学習会・研修会
- ・ 「花の香りがするまちづくり」を推進するためのガーデニング講習会・ガーデニングコンテスト等の開催
- ・ 「花の香りがするまちづくり」応援プロジェクトの立ち上げ など

② 地域資源を活かした環境教育

- ・ 森林のサイクルを促進し、木材への親しみや木の文化への理解を深める「木育」
- ・ 保育園児を対象にパネルシアター等を活用した環境教育
- ・ 夏休みを利用した親子等を対象とした環境教育 など

③ 県コミュニティスクールの推進

- ・ 県小・県中・県公民館合同講演会

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■ 収入の部

前年度繰越金	560,008 円	【再生エネルギー基金特別会計全額】
今年度地域貢献寄付金	400,000 円	4月30日/5月21日受領
預金利息	0 円	
合計	960,008 円	(見込み)

■ 支出の部

県小中・公民館合同講演会消耗品	29,918 円	(地域振興部会 再エネ活用事業・支出済)
避難所用トランシーバーの購入	160,050 円	(地域振興部会 再エネ活用事業・支出予定) →県小中体育館・県体育館の3か所
合計	189,968 円	(見込み)

■ 収支

収入の部 960,008 円－支出の部 189,968 円＝ 770,048 円(見込み) →特別会計へ繰入

龍江小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 龍江地域づくり委員会
会長 宮脇正博
- 協力事業者 エルコンパス イプサ
有限会社 ナカガワ竜峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立龍江小学校 北校舎
- 太陽光発電容量 27.5 kW
- 発電見込み量 年間 42,460 kWh



申出時点での事業計画

- ①第14号事業と共同で行う、地元食材を活用した郷土食の提供による域消域産の推進及び自然エネルギー及び環境教育に関する教材購入等に要する経費
- ②学校の緑化（花壇整備等）
- ③地域クラブ等の材料費補助や講師謝礼補助
- ④シャルルヴィル・メジエール市のノートルダム小学校との交流経費他

実績等

- 発電開始日 令和3年8月19日

■ 年間発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） R4：0.459 R5：0.421 R6：0.421

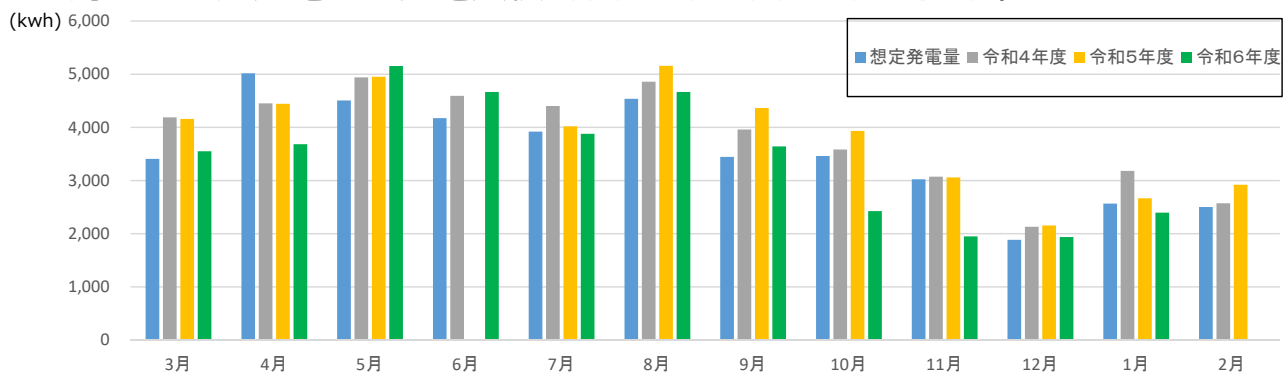
令和4年度45,957kWh（当初想定：42,460kWh）・・・CO₂削減量 21.09t/CO₂

令和5年度41,846kWh（当初想定：42,460kWh）・・・CO₂削減量 17.62t/CO₂

令和6年度37,965kWh（当初想定：42,460kWh）・・・CO₂削減量 15.98t/CO₂

※令和7年1月31日数値

■ 月別の想定発電量と発電実績（令和4年～令和6年1月実績）



■ 地域貢献寄付金（定率10%）

令和3年度 45,372円

令和4年度 106,160円

令和5年度 96,220円

令和6年度 95,100円 ※見込み

○本事業は、龍江地域づくり員会で実施中の既存事業(第14号認定竜峡調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業)と一体的に、地域課題の解決に取り組んでいます。



<寄付金の使途>

<事業>

認定第14号事業

開始：R元年度～
場所：竜峡調理場

認定第20号事業

開始：R3年度～
場所：龍江小学校

地域課題
解決へ
一体的取組

【継続】

○給食配送路周辺の放置竹林の整備により配送路の安全を確保

【拡充】

○域産域消による、食とエネルギーの地域循環の創出と環境教育の推進

- ・地元農家から調達した食材が学校給食として供給されているが、地元小学生が栽培した食材も合わせて給食に提供することができ、地域循環を学ぶ学習の素材として活用できるようになる
- ・環境教育に関する図書等の購入経費としても活用する

【新規】

○学校の緑化

- ・花壇整備等、校内緑化の推進を図る

○地域クラブ等の講師謝礼補助や教材費補助

- ・伝統文化としての「天龍峡焼」「郷土料理」などのクラブ支援

○シャルルヴィル・メジエール市内小学校との交流促進

- ・ノートルダム小学校児童へビデオレターを送るなど、コロナ禍の中で、遠くの友人を応援する取り組み

本事業での最近の活用内容

○学校りんご園の肥料やり、農薬散布、除草作業、剪定、摘果などの管理を地区内の果樹園経営者や有志が龍江小学校児童と一緒に収穫を含め1年間を通じて作業を実施しました。



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

○引き続き、龍江小学校りんご園の肥料やり等の管理を小学生と有志で行い、食とエネルギーの地域循環創出と環境教育を推進したい。

会計報告

■収入の部

前年度繰越金	118,517円	
今年度地域貢献寄付金	96,220円	(4月 受取)
合計	214,737円	

■支出の部

(労務費) 病虫害防除、草刈り、摘果作業	
(消耗品) 肥料、ガソリン代、飲み物	
合計	124,041円

■収支

収入の部	214,737円	-	支出の部	124,041円	=	90,696円
------	----------	---	------	----------	---	---------

竜丘小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 竜丘地域自治会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 飯田市立竜丘小学校

■太陽光発電容量 27.74 kW

■発電見込み量 年間 30,514 kWh

申出時点での事業計画

- ①飯田市環境美化重点区域として指定を受けた天竜川鷲流峡及び時又中村線（源氏ヶ滝）エリアの不法投棄対策
- ②天竜川鷲流峡復活プロジェクトと竜丘小学校児童とが行う竹灯籠づくりやメンマづくりなど地域資源たる竹の活用をベースにした環境教育

実績等

■発電開始日 令和4年2月12日

■年別発電量及びCO₂削減量

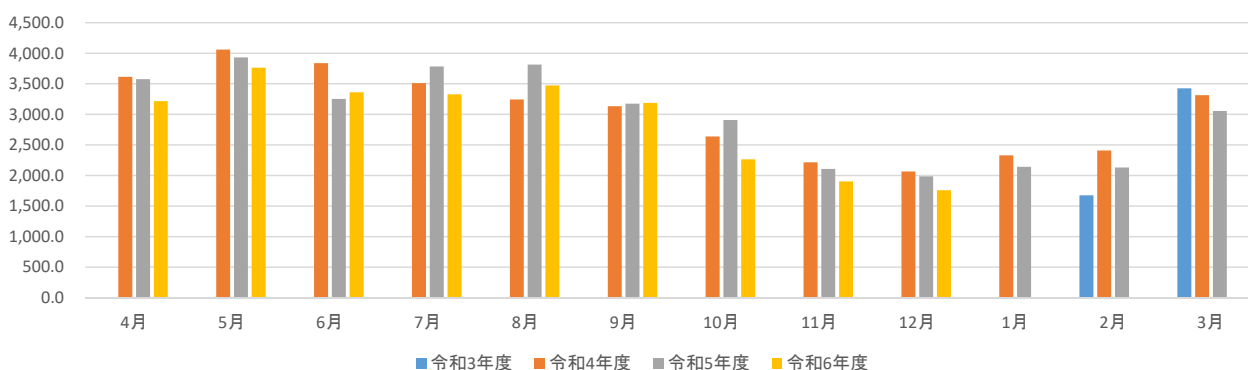
令和4年度 36,381Wh（当初想定：30,514kWh）・・・CO₂削減量 15.21t/CO₂

令和5年度 35,873Wh（当初想定：30,362kWh）・・・CO₂削減量 15.00t/CO₂

令和6年度 26,264Wh（当初想定：30,209kWh）・・・CO₂削減量 10.98t/CO₂

※令和6年度は令和7年1月までの数値

■月別発電量（令和4年2月～令和7年1月）



■地域貢献寄付金（定額 105,000円）

令和3年度 105,000円

令和6年度 105,000円

令和4年度 105,000円

令和5年度 105,000円

本事業での最近の活用内容

【不法投棄対策】放置竹林の伐採



【環境教育】いなちく(メンマ)のラベルづくり



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①環境美化重点区域の放置竹林等の整備を拡大し、ゴミを捨てにくい環境づくりを目指します。
- ②身近にある竹の利活用について、竜丘小学校の児童が学習する機会を寄付金により一層充実します。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	105,000円
預金利息	0円
合計	105,000円

■支出の部

天竜川鷲流峡復活プロジェクト活動費	35,000円
源氏ヶ滝環境美化プロジェクト活動費	35,000円
竜丘小学校環境教育費用（天竜川鷲流峡復活PJ）	35,000円

合計 105,000円

■収支

収入の部 105,000円 — 支出の部 105,000円 = 0円

野底川小水力発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 上郷地域まちづくり委員会
- 協力事業者 野底川市民発電株式会社（おひさま進歩エネルギー）
- 発電設備 小水力発電（もりデン こりき君）
- 発電箇所 野底川（飯田市上郷黒田）
- 発電容量 341.5kW（最大受電電力 340kW）
- 発電見込み量 年間2,120,000kWh

申出時点での事業計画

- ①野底山の森林活用事業：森林・木工体験、ガイドによる森林散策など、森林空間を活かした事業の実施。
- ②野底山森林公園の整備事業：園内施設、遊歩道(森林公園内、風越山登山ルート)、キャンプ場の拡張、ピクニック広場等の整備。
- ③野底山森林公園の活用事業：紅葉の郷としてPRする他、発電所を活用した環境学習(自然エネルギー・水生生物観察・釣り体験)を実施し地域の魅力の向上につなげる。

実績等

- FIT発電開始日 令和5年9月8日

- 年別発電量及びCO2削減量（令和5年度は検針月で10月から3月までの発電量）

※検針月は実発電期間の翌月

令和4年度 0kWh（発電開始前のため）

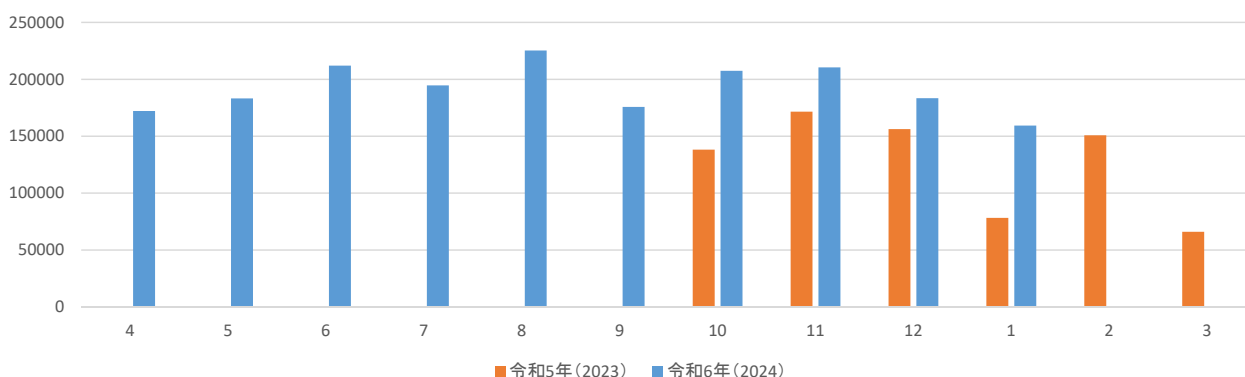
令和5年度 761,440kWh（当初想定：935,221kWh）・・・CO2削減量 329.7t-CO2

＜夏場・冬場の降水量減、機器調整による一時停止(12月：検針月1月)あり＞

令和6年度 1,924,605kWh（当初想定：1,887,215kWh）・・・CO2削減量 844.9t-CO2

＜※検針月：令和6年4月から令和7年1月＞

- 月別発電量（検針月：発電実期間は前月）



- 地域貢献寄付金（定率1%+税）

令和4年度： 0円（工事中）

令和5年度： 0円（工事中）

令和6年度： 242,899円（検針月：令和5年10月から令和6年3月）

本事業での最近の活用内容

上郷小学校環境学習



①おひさま社員が、5年生に出前授業



②5年生が取水設備見学



③5年生が発電所見学



(参考) 外部からの視察 中川村村議会議員ほか

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①公園の維持管理を担当する部門の高齢化と担い手の確保

- ・野底山森林公園の維持管理業務を主となって実施するモーリーの森応援隊の隊員の高齢化に伴い、作業への参加人員が減少しているため、業務委託など検討を進める。
- ・隊員確保のため、まちづくり委員会と関連団体が協力し入隊特典や入隊しやすい雰囲気作り、上郷居住者に限らない隊員の募集など検討を進める。
- ・小、中高生や大学生等が担い手として活動できる場づくりと、活動を通じたつながり人口の創出による担い手確保の研究検討。

②環境学習の継続

- ・上郷小学生(5年生)を対象とした出前授業の参加、発電所見学を実施。他団体視察の受け入れ

③森林空間を利用した事業展開

- ・イベント(さくら祭り・もみじ祭り)に合わせたガイドによる森林散策の実施

会計報告 ※以下の会計については事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0 円	
今年度地域貢献寄付金	242,899 円	2024年5月31日受領
預金利息	- 円	
合計	242,899 円	

■支出の部

貸切バス代	161,700 円	(森林公園の活用事業)
学習会資料代	11,800 円	(森林公園の活用事業)
合計	173,500 円	

■収支

収入の部 242,899 円 - 支出の部 173,500円 = 69,399円

南信濃地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 南信濃地区まちづくり委員会
- 協力事業者 株式会社リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 和田小学校・遠山中学校・南信濃公民館
- 太陽光発電容量 和田小学校 22.0kW
遠山中学校 22.0kW
南信濃公民館 16.5kW

■発電見込み量 年間 83,785.9kWh

申出時点での事業計画

- ①令和5年度「やまざと親子留学」のスタート、留学家族への支援
- ②移住定住策の推進
- ③留学希望者への情報発信



実績等

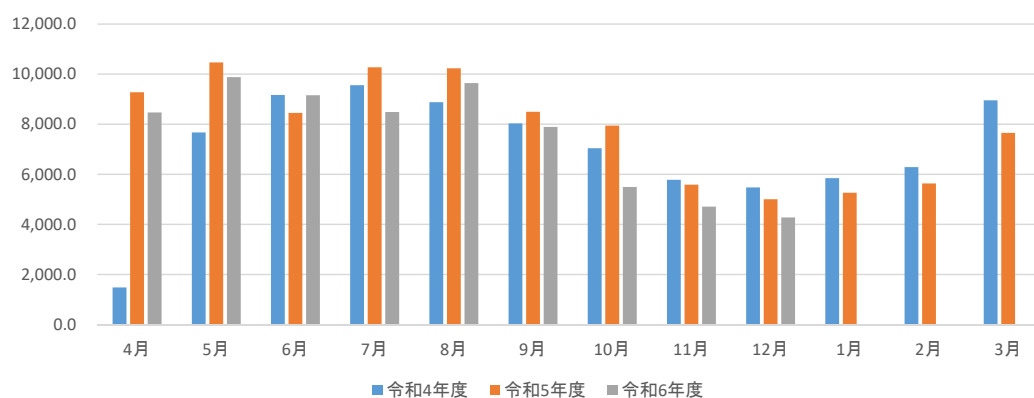
■発電開始日 和田小学校：R4.4.18 遠山中学校：R4.4.30 南信濃公民館：R4.6.13

■年別発電量及びCO2削減量（直近3年間）

令和4年度	84,207.0 kWh（当初想定：85,921.0 kWh）	…CO2削減量	35.199t/CO2
令和5年度	94,315.2 kWh（当初想定：85,061.8 kWh）	…CO2削減量	39.424t/CO2
令和6年度	68,030.1 kWh（当初想定：83,785.9 kWh）	…CO2削減量	28.437t/CO2

※R6年度の発電量及びCO2削減量はR6.4月からR6.12月までの累積

■月別発電量

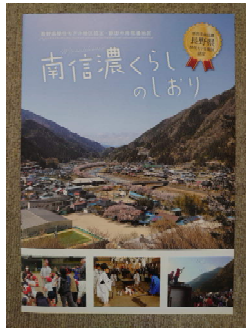


■地域貢献寄付金（定額210,000円）

令和4年度 210,000円 令和5年度 210,000円 令和6年度 210,000円

本事業での最近の活用内容

①移住者向け暮らしのしおり制作



地域の気候・商店など移住者が事前に必要とする情報を「暮らしのしおり」としてまとめた。

②1500委員会活動



地域・行政・小中学校、保育園など関係する皆さんと定期的に情報共有を図り事業展開を図った。

③移住相談会・親子留学事業・保育園ショート留学事業



9月に銀座NAGANOで開催された長野県移住モデル地区セミナーへ参加。
都内の移住希望者へ地域の紹介・やまざと親子留学の説明などを実施



- ・短期的に地域の暮らしの体験を行う保育園ショート留学事業を実施。本年度は13件の留学家庭の受入れた。
- ・ショート留学事業から親子留学事業へつながる事例も生まれ、1組の留学家庭を受入れを実施。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①やまざと親子留学・保育園ショート留学

- ・短期的にこの地域の暮らしを体験していただく保育園ショート留学事業を実施。（R6実績13件）ショート留学からやまざと親子留学につながる事業展開が図れた。
- ・現地見学会やオンライン説明会などを開催し、潜在的なニーズはあることはわかってきているものの効果的な発信が課題。
- ・全国的に留学事業が行われているため、結いターン移住定住推進課と連携した効果的な情報発信を行っていく。

②移住者向け住宅の確保

- ・空き家ストックが進まない。空き家を活用できる状態にするためには、費用負担がネックになってくる。短期的なニーズへの対応する住宅と本気で移住を考えている方に対する住宅の対応は異なってくる。このため、短期的なニーズに対してはお試し住宅で対応しながら、長期的なニーズに対する空き家の掘り起こしを地域で行っていくことが必要。

会計報告（R5年度） ※移住定住を推進する「南信濃1500委員会」の活動費として、同委員会の専用会計で管理。

■収入の部			
前年度繰越金	461,308円		
地域貢献寄付金	210,000円	R5度分	
補助金等	362,900円	まちづくり委員会・ムトス飯田補助金	
その他収入	4円	貯金利息4円	
合計	1,034,212円		
■支出の部			
消耗品費	363,000円	暮らしのガイドブック	
事業費	335,533円		
事務費	370円		
役務費	2,260円		
合計	701,163円		
■収支			
収入の部	1,034,212円	支出の部	701,163円 = 333,049円

座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 座光寺地域自治会
- 協力事業者 株式会社 リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 座光寺小学校・座光寺公民館
- 太陽光発電容量 49.64kW
- 発電見込み量 年間54,604kWh



申出時点での事業計画

- ① 歴史史料の整備、学習活動
- ② 渋谷区等との交流事業

実績等

- 発電開始日 令和5年4月19日（公民館）・5月30日（小学校）

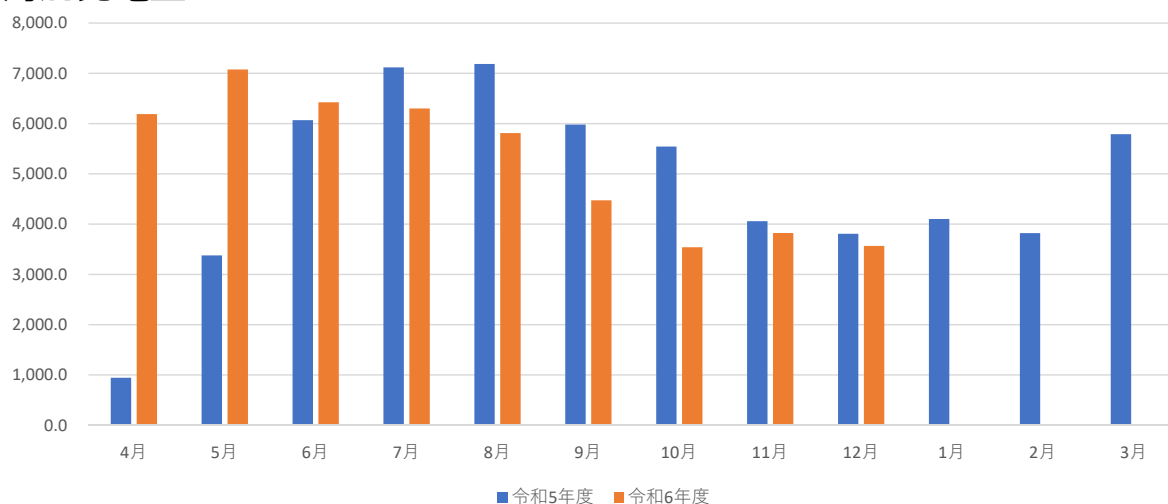
■ 年別発電量及びCO2削減量

令和5年度 57,814kWh（当初想定：54,604kWh）・・・CO2削減量 24.166t/CO2

令和6年度 47,216kWh（当初想定：54,331kWh）・・・CO2削減量 19.737t/CO2

※R6年度は4～12月実績

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定額140,000円）

令和5年度 140,000円

令和6年度 140,000円

本事業での最近の活用内容

①麻績の里案内人による修学旅行生等への史跡ガイド



②史跡公園ガイダンス施設の先進地視察／南本城御城印の作成・販売



③奈良の子どもや渋谷区長の座光寺訪問・交流



④麻績史料館の整備

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①歴史史料の整備、学習活動

- ・史跡の案内人が固定化しており、新たな担い手を育成する必要がある。
- ・開設予定の「ごんが歴史交流館」の管理運営を地元も分担することになっており、適切な管理と有効活用ができるよう準備を進める必要がある。
- ・麻績史料館（歴史史料の保存・活用の拠点）の管理運営の担い手を広げる必要がある。

②渋谷区等との交流事業

- ・昨年度に続き奈良の子どもたちがやってきた。座光寺の子どもが奈良に行くことも検討したい。
- ・渋谷区長や原宿穂田商店会が座光寺を訪問。渋谷区との交流を再開するきっかけができたので、今後も良好な関係を継続していく。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	140,000円	4月30日受領
預金利息	0円	
合計	140,000円	

■支出の部

麻績史料館の整備・物品購入	35,000円	(629,909円のうち)	(歴史史料の整備、学習活動)
史跡ガイド事業・先進地視察等	35,000円	(140,847円のうち)	(歴史史料の整備、学習活動)
渋谷区長・穂田商店会交流	70,000円	(275,342円のうち)	(渋谷区等との交流事業)
合計	140,000円		

■収支

収入の部 140,000円－支出の部 140,000円＝ 0円

認定第25号

持続可能な伊賀良の庄づくりプロジェクト2024

- 事業者 伊賀良地区まちづくり協議会
- 協力事業者 株式会社リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 伊賀良小学校、伊賀良公民館
- 太陽光発電容量 49.64 kW
(小学校28.47kW+公民館21.17kW)



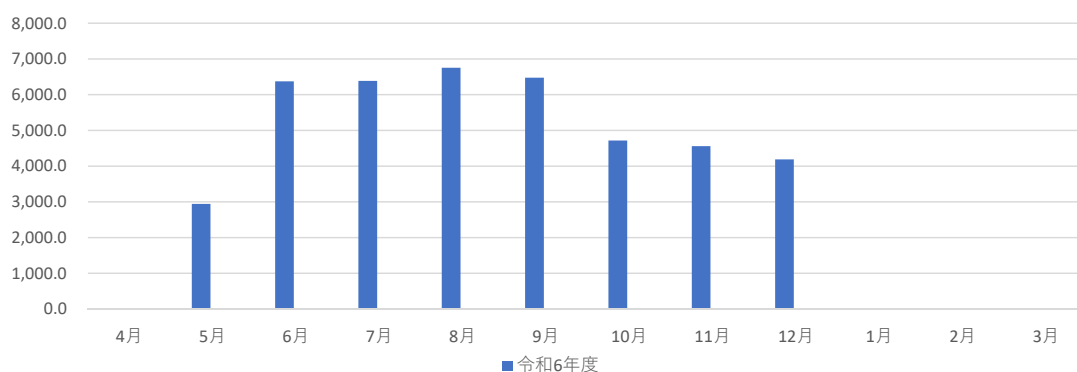
〈伊賀良小学校〉



〈伊賀良公民館〉

実績等

- 発電開始日 伊賀良小学校 令和6年5月10日
伊賀良公民館 令和6年5月17日
- 年間発電想定量及びCO₂削減想定量
54,604.0kWh(小学校31,317kWh+公民館23,287kWh)・・・CO₂削減想定量 22,824t/CO₂
- 月別発電量（発電開始～令和6年12月分まで）



- 地域貢献寄付金（定額150,000円）
令和6年度 150,000円

地域課題

伊賀良地域では、リニア中央新幹線の開通、飯田南バイパスの事業化など、大きく変化する地域環境を的確に捉え、南アルプスを望む西部山麓線一帯と沢城湖周辺を整備・活用した観光面での発展など地域振興につなげることが課題となっています。また、今後迎える社会情勢の変化のなかで、多様化する価値観や社会意識も認めつつ、お互いが支え合い、それぞれが手を差し伸べ一体感のある地域づくりが求められています。

本事業を通じて当面の間、以下の2点の取組を推進していきます。

- (1) リニア開業、飯田南バイパス開通後を見据えた地域資源を活かす取組の推進
- (2) 公共施設などにおける伊賀良の花・木を地域に広めることによる心のつながりの推進

申出時点での事業計画

- ① 沢城湖を含む西部山麓線一帯の環境整備及び設備拡充
 - ・沢城湖及び展望台周辺、佐倉公園、梅ヶ久保かたくりの里、信濃遊歩道の草刈り等環境整備
 - ・案内板等の設備整備
- ② 公共施設等の美化整備
 - ・伊賀良小学校中庭の花壇への、子供たちによる「伊賀良の花」の植栽
 - ・公共施設等への、地域住民による「伊賀良の花」の植栽

認定第26号

上村地区公共施設

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■ 事業者 上村地区まちづくり委員会

■ 協力事業者 株式会社 リックス

■ 発電設備 太陽光発電

■ 発電箇所 上村小学校
上村公民館

■ 太陽光発電容量 46.75kW



上村小学校



上村公民館

実績等

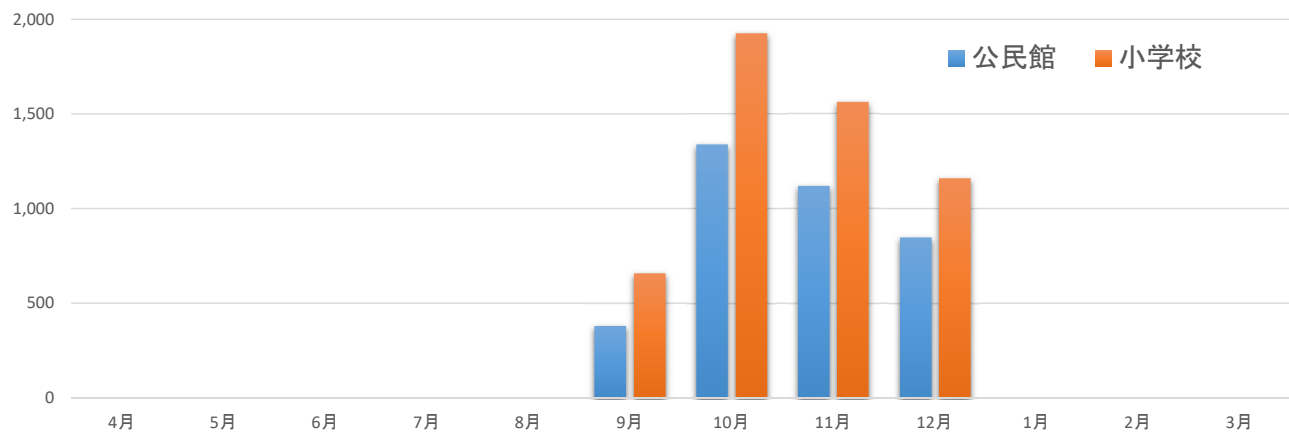
■発電開始日 令和6年9月21日

■年間発電想定量及びCO₂削減想定量

9,001.1kWh（小学校5307.9kWh＋公民館3693.2kWh）

・・・CO₂削減想定量 3.962 t/CO₂

■発電量と実績



■地域貢献寄付金（定額120,000円）

令和6年度 120,000円

地域課題

市内で最も人口が少なく（約320人）、少子高齢化の課題が顕著な上村地区において、豊かな自然を生かして地区外からも評価してもらえる地域づくりにより、移住を見据えた交流人口、関係人口の増加を目指している。その一環として魅力ある保育園、特色ある学校運営を地域も参画して取り組んでいる。

申出時点での事業計画

①自然保育の環境整備と自然体験ガイドの育成



保育園裏山の整備作業



夏休み学校キャンプの支援（竹細工）



夏休み学校キャンプの支援（飯ごう）

②コミュニティスクールの推進と小規模特認校支援のための地域連携

③若者が主体で取り組む地域体験プログラム構築と交流拠点の整備



若者グループが流しそうめん（夏）
棒パンづくり（冬）の体験会を実施

上久堅小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■ 事業者 上久堅地区まちづくり委員会

■ 協力事業者 株式会社リックス

■ 発電設備 太陽光発電

■ 発電箇所 上久堅小学校

■ 太陽光発電容量 27.88kW



実績等

■ 発電開始日 令和7年3月末

■ 年間発電想定量及びCO₂削減想定量

30,668 kWh・・・CO₂削減想定量 12,82t/CO₂

■ 地域貢献寄付金（定額70,000円）

地域課題

- ①「神之峰城址公園」一帯について、その歴史的価値を活かした管理と整備
- ②現在は周辺の整備を地元地区で定期的に作業を行っているが、高齢化のため多世代と協力し合い地域の一体での活動

申出時点での事業計画

(1) 観光客を誘致する魅力的な観光拠点の整備

- ①公園内の支障木伐採、遊歩道の整備また資料館周辺の除草作業の実施
- ②公園内にある老朽化したベンチの改修
- ③神之峰城址公園までのアクセス道路の両脇にある放置竹林の伐採

(2) 多世代の協働による地域活性化に向けた熱意と創意の共有

上久堅小学校児童の皆さんと共同で神之峰城址公園までのアクセス道路へつつじやさつき等の植樹を行い、フラワーロードとして整備

活動写真

